

児童英語教育

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	英米語学科 専攻語学群	武田 利枝	1年生 First Year	火曜日 2時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
場面に応じたALTとのコミュニケーションをとれるようになる。 基本的な活動や指導法、小学校の教育現場に関する基礎的な知識をえる。 小学校や幼稚園で必要な語彙と教室英語を身に着ける。

その他

教科書	次の教科書を使用する。相羽千州子・藤原真知子 他(2016)『Hello, English English for Teachers of Children 一』成美堂:東京。【978-4-7919-4797-3】
参考文献	岡秀夫・金森強(2012)『小学校英語教育の進め方』成美堂:東京。【ISBN: 978-4-7919-7141-1】 樋口忠彦・加賀田哲也・泉恵美子・衣笠知子(2013)『小学校英語教育法入門』研究社:東京。【ISBN: 978-4-327-41086-5】 その他,授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく,受講中に私語をしたり,スマートフォンを触ったりしないこと。また,提出物は,期限内に提出すること。プリント教材はきちんと各自失くさないように管理すること。
授業時間以外の学習	次回範囲を予習して,わからない専門用語の意味を調べたり,考えたりしておくこと。また,毎回の授業範囲をよく復習しておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。春学期は、学期末試験 30%,レポート 20%,クラス内発表 20% 小テスト・授業への積極的な取り組み 30%秋学期は、模擬授業50% 小テスト・授業への積極的な取り組み50%
実務経験と 科目の関連	小学生のための英会話、小学生のための英検対策の指導経験があり、小学校英語指導者資格を持っています。小学校における英語教育の機会が増え、また幼稚園や保育園など、低年齢からの英語教育への関心も高まっています。英語でコミュニケーションを図る力や授業を行うために必要な知識や技術を身につけることがますます必要になっています。この科目を受講すると、将来、子ども達に英語を教える仕事をしたいと思う学生には、それまでの下準備にもなります。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入) 近年の外国語教育の変遷
2講目	Unit1 : ALT's First Visit to Minami Elementary School
3講目	Unit 2 : Getting to Know Each Other
4講目	Unit 3 : School Lunch
5講目	Unit 4 : Play Time
6講目	日本と諸外国の早期英語教育
7講目	発達心理
8講目	発達心理
9講目	授業づくりと指導のポイント
10講目	Unit 5 : The First English Class
11講目	Unit 6 : Teaching Numbers 1 授業スタート
12講目	Unit 7 : Teaching Numbers 2 授業の展開
13講目	Lesson 8 : Reflection 授業を終える
14講目	Unit 9 : Activities at a Kindergarten
15講目	春学期期末テストとその解説

翻訳入門

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	英米語学科 専攻語学群	岡野 敦子	指定なし	水曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
授業では、様々な分野を扱い、英 日、日 英に素早く訳すことを目指します。

その他

教科書	無し。教材は毎回プリントを配布する。
参考文献	その都度紹介する。
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式
留意点	英和、和英辞書(電子辞書も可)を毎回持参のこと。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席率、小テスト、学期末試験、意欲的な態度と参加
実務経験と 科目の関連	株式会社 アイビーインターナショナルで、通訳・翻訳担当。エルゼビアンジャパン株式会社翻訳編集部にて、翻訳編集業務に従事。その後本校非常勤講師として勤務。翻訳者の経験を有する教員が、様々なビジネスの場面における多様な題材の翻訳の実務について扱う。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Introduction、CNN時事英語の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
2講目	小テスト1、CNN時事英語の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
3講目	小テスト2、「アニメ」の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
4講目	小テスト3、「アニメ」の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
5講目	小テスト4、ビジネス英語(Eメールの翻訳)、洋楽の翻訳と発音練習
6講目	小テスト5、ビジネス英語(Eメールの翻訳)、洋楽の翻訳と発音練習
7講目	小テスト6、医療翻訳の基礎、洋楽の翻訳と発音練習
8講目	小テスト7、医療翻訳の基礎、洋楽の翻訳と発音練習
9講目	小テスト8、文学作品の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
10講目	小テスト9、文学作品の翻訳、洋楽の翻訳と発音練習
11講目	小テスト10、同時通訳入門、洋楽の翻訳と発音練習
12講目	リスニングのトレーニング、同時通訳入門、洋楽の翻訳と発音練習
13講目	英単語の総まとめテスト(100題)、第14回テストの準備
14講目	テスト
15講目	リスニングのトレーニング、総まとめ、講義

言語と平和

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	一般 一般教養科目群	花岡 慧	1年生 First Year	月曜日 6時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
建学の精神であるPax Mundi Per Linguas(言語を通して世界の平和を)が現代世界の重要課題であることを理解する、それが本講義の目標である。春学期の授業はリレー形式で行い、現代世界の抱える問題に対する鋭い問題意識、高い課題設定能力の養成を目指す。

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)講義形式。 春学期は、京都外大の「言語と平和」授業をDVDで視聴し、その都度レポートにまとめて授業時間内に提出。秋学期は、プレゼンテーションとそれに向けての準備課題に毎回取り組む。
留意点	自らの考えを発表できるように常に心がけてください。
授業時間以外の学習	
評価方法	春学期:毎回のレポート, 秋学期:前半のレポート50%+後半のグループ発表50%
実務経験と 科目の関連	学園建学の精神であるPax Mundi per Linguas 「言語を通して世界の平和を」という理念を理解するための授業。複数で担当する講師は、実務として現代社会の諸事情に様々な立場から携わっており、オムニバス形式により、各々の経験を活かして、具体的な政策課題やその解決に向けた取り組みについて講義し、現代社会に対する高い問題意識、課題設定能力を身につけることを目指す。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	アクティブラーナー(能動的学習者)の心得
2講目	なぜ外国語を学ぶのか
3講目	人間は平和に向いているか -心理学の観点から考える-
4講目	LGBTも過ごしやすい社会 心理的安全性の高い環境醸成に必要な視点
5講目	おいしいコーヒーを飲み続けるために - 消費者選択の責任
6講目	難民と言葉 - 支援の現場で行うこと
7講目	アフガンに命の水を
8講目	若者が語る日韓交流の現在と未来 - 国際交流業務の経験から
9講目	社会を希望で満たす働きかた - ソーシャルデザインという仕事
10講目	お笑いを通じた社会問題の解決 - 吉本興業芸人の挑戦
11講目	世界旅に行ってみないか
12講目	世界平和に対する宗教の役割と責任 - 仏教徒キリスト教の宗教間対話を中心として
13講目	ヒバクシャの声をいかに生かすか - 核兵器禁止条約発効
14講目	国際平和と大国の責務 アフガニスタン・ウクライナ・国連
15講目	(本講義は100分×14回分の授業として取り扱うため、15回目の講義はありません。)

コンピュータリテラシ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	一般 マルチメディア科目群	山上 礼子	1年生 First Year	月曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
本講座は、(旧)日タイ連の問題集の作成編集や複数の専門学校の教科書作成および各種PC検定の検定委員の実務経験を持つ教員が担当しています。Windowsの基本操作と、WordおよびPowerPointの基本操作技術を身につける。 ・ブラインドタッチでキーボードの操作ができるようになること ・基本操作をシートカットキーで操作できるようになること ・社会人向きの検定試験基礎レベル以上の操作ができるようになること

その他

教科書	実教出版:30時間でマスター Office2019(Windows10対応)
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。 ・キーボード操作 ・ブラウザの使用方法 ・Office アプリの使用方法 ・上記操作におけるショートカットキー 等 パソコン操作による演習になりますので、次回の授業までにしっかり復習し作業できるように練習をしておいてください。 また、専門用語を忘れないように覚えるましょう。
留意点	実技授業のため遅刻は10分までとなります。十分注意してください。授業中に指定する課題はすべて提出期限があります。Teams内に提出期限を確認できるようにしますので、間違えないように提出してください。指定された期日を超えると提出するサーバーのフォルダがなくなり提出できなくなりますので注意してください。(Teams の課題に提出する場合も同様に期限切れになると提出できなくなります)
授業時間以外の学習	授業中に終わらなかった課題などは、提出期限に間に合うように授業時間外に学内PC や自宅で作業してください。初めての操作などは忘れないように復習するようお願いいたします。
評価方法	提出物:50点、実技テスト:40点、授業内容への取組:10点各点数の内訳が必要な場合は照会ください。総合判定となります。
実務経験と 科目の関連	この教科を履修することにより、社会人向きの各種検定試験の基礎級までの実技試験内容が網羅されています。また、基礎級以上の検定級を受験希望される方も知識科目とあつ少しの実務作業を覚えることにより上級試験も受験可能なレベルまで学習することができます。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	講義内容説明・教室使用注意事項・テキストについて・学生サイトおよびwebメールログイン方法と画面の見方を知る。学内メールの設定をする(ビジネスメールの基本の土曜講座の案内)
2講目	Teams の使用についての説明・キーボード練習(ローマ字入力) ブラインドタッチの基本と練習方法を学び実践します。(キーボードテストについての通知)
3講目	キーボード練習 Chromeのオプション設定・便利な使い方・プリントスクリーン・印刷について学びます。
4講目	キーボード練習 Wrod操作 Windowsの基本操作・キーボード名称・記号の名称Word画面名称・IME ツールバー設定を学びます。
5講目	キーボード練習 Word操作 ひらがな・カタカナ・アルファベット・文字削除・数字・記号・漢字変換・変換訂正を学びます。(教科書の問題で練習を行います)
6講目	キーボード練習 Word操作 特殊記号・数式の作成・IMEパッド・ページ設定・カーソルの動き・範囲指定・ヘッダーフッターを学びます。(教科書の問題で練習を行い印刷を試みる)
7講目	キーボード練習 Word操作 ビジネス文書の形式(構成要素)を学習する。書式設定(フォント・サイズ・太字・斜体・下線・色・両端揃え・中央・右・均等割付・拡大など)を学ぶ。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行います)
8講目	キーボード練習 Word操作 書式設定(組み文字・蛍光ペン・インデント・箇条書き・段落番号など)を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行う)
9講目	キーボード練習 Word操作 罫線処理(表挿入・編集)を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行います)
10講目	Word操作 キーボードテストを行います(後日ランキング発表有)・罫線の作成と編集の学習を行います。(サーバー内の教材データを使用して編集作業と新規での作成作業の練習を行います)
11講目	Word操作 図形描画・ワードアート・図・スマートアート(挿入と編集)を学習します。
12講目	Word操作 図形の作成と編集作業を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業と新規での作成作業の練習を行います)
13講目	春学期の操作確認テスト&次週からの準備と内容説明・ペーパーではなく、画面上でデータを直接触って学習成果の確認をするためのテストです。学習してきた内容が作業できるかの確認ため教科書以外にネットやスマホも活用しましょう。採点後のデータおよび解答例のデータは、各自持ち帰ることができます。間違っている箇所があった場合は、どうして間違っていたのか確認しましょう。
14講目	PowerPoint操作 スライド作成・複写・移動・削除・レイアウトを確認し、スライド内への文字・図形・写真・グラフなどの挿入作業を学ぶ。(教科書のデータを使用します)
15講目	PowerPoint操作 作成したスライドにデザイン・アニメーション・画面切替の作業を学ぶ。音声と動画の挿入方法を練習する。(秋学期にデータの続きを使用しますので、メモリ内のデータをなくさないようにしてください)

中国語 LL

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	中国語学科 専攻語学群	倉本 聖子	指定なし	水曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
簡単な自己紹介、買い物、食事、道案内等の会話が聞き取れるようになる

その他

教科書	漢語听力速成 入門篇 北京語言大学出版社
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式
留意点	授業だけでは聞き取る力につきませんので、毎回の単語、表現を確実に覚え、授業以外の時間に授業で間違えたところやしなかったところなどを自分で復習し、地道な積み重ねをしてください。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席30%、学期試験70%出席は、その日の提出物の提出をもってカウントしますので気をつけてください。
実務経験と 科目の関連	株式会社大金製作所の海外事業部において、中国進出の足場となる合弁先を開拓し、重慶にて合弁会社を設立した経験を持っており、中国でのビジネスの慣習や仕事の進め方など幅広く学ぶことが出来る。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ガイダンス、実力テスト
2講目	第一課 姓名和問候
3講目	第二課 数字和咲系
4講目	第三課 時間和日期
5講目	第七課 学習和愛好
6講目	自我介绍
7講目	第四課 購物
8講目	購物
9講目	第五課 飲食
10講目	飲食
11講目	第六課 交通
12講目	第八課 方位
13講目	方位
14講目	春学期試験
15講目	振り返り

韓国・朝鮮語 表現法

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	韓国・朝鮮語学科 専攻語学群	郭 真希	指定なし	木曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

似て非なる韓国語文法の理解度の深め、韓国語で作文を作成する際に文法でのミスがなくなること。

その他

教科書	プリント、視聴覚教材『怪しい彼女』
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式
留意点	毎週テストを実施予定
授業時間以外の学習	
評価方法	テスト20%、授業への取り組み20%
実務経験と 科目の関連	駐日本国大韓民国特命全権大使が大阪市長を訪ねた際の表敬訪問通訳。ウィッグ会社の会社行事の際の同時通訳。立命館大学で開催された北朝鮮問題に関する学会で同時通訳。大阪観光ガイドブックの翻訳(ネイティブチェック)。ピッコマ掲載の漫画翻訳、パンスタークルーズ旅行のパンフレット翻訳。等の実務経験を活かし、実務で有用な表現法などを指導する。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概要説明
2講目	テーマ「助詞」
3講目	テーマ「たら」
4講目	テーマ「ている」
5講目	テーマ「時」
6講目	テーマ「した」
7講目	テーマ「できる」
8講目	テーマ「理由」
9講目	映画鑑賞
10講目	映画鑑賞
11講目	テーマ「お願い」
12講目	テーマ「ようだ」
13講目	テーマ「てから」
14講目	テーマ「否定」
15講目	テーマ「のに」

タイ語 文字 A

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	東南アジア言語学科(タイ語専攻) 専攻語学群	一宮 孝子	1年生 First Year	火曜日 3時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
タイ文字の基本をマスターする。

その他

教科書	『タイ語読解力養成講座』(めこん)
参考文献	授業中に紹介する予定。
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)アクティブラーニング
留意点	本校基準以上の出席はもちろん、下記の通り確実に実行のこと。
授業時間以外の学習	各課の単語と基本文は確実に暗記し、練習問題を解き、次回授業内容を予習した上で授業にのぞむこと。
評価方法	授業への取り組み 30% 単語・基本文テスト30% 確認テスト40%
実務経験と 科目の関連	本校常勤講師、辞書の編纂・校正、学習書執筆、NHK大阪放送局制作番組翻訳、大阪府タイ王国首相歓迎夕食会通訳、タイ王国元日本留学生協会主催東芝国際交流財団助成金日本語セミナー講師等の経験を踏まえた語学教育を行う。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	タイ文字の概説と授業の導入
2講目	文字(1)・タイ語発音[頭子音]
3講目	文字(2)・タイ語発音[母音]
4講目	文字(3)・タイ語発音[尾子音]
5講目	文字(4)・タイ語発音[声調]
6講目	第1課マーリーは奈良に来る
7講目	第2課マーリーはペーおじいさんを待つ
8講目	第3課マーリーは頭が良い
9講目	第4課太郎はマーリーを大阪へ連れて行く
10講目	第5課マーリーは太郎を訪ねて行く
11講目	第6課マーリーはフッフツと笑う
12講目	第7課太郎をマーリーは桜を見に行く
13講目	第8課太郎は二か月間タイ語を勉強してきた
14講目	第9課太郎をテレビを見ていてミスタイを見た
15講目	確認テストとその解説および今後の課題

キャリアデザイン論（英米）

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	一般 一般教養科目群	武田 由利子	指定なし	金曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
本講座は、企業で採用活動を担当し、その後個人の職業選択や能力開発を支援する産業カウンセラーやキャリアコンサルタントなどの資格を取得した教員が講座担当しています。,,就職活動の流れを理解し、この1年で取り組むべきことを明確にする。

その他

教科書	なし
参考文献	なし
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)講義形式。講義とグループワーク、発表
留意点	遅刻・欠席はしないように。
授業時間以外の学習	
評価方法	授業への取組と課題の達成状況で成績を決定します。
実務経験と 科目の関連	京阪電気鉄道(株)人事部(9年)。産業カウンセラー資格取得(2010年)。キャリアコンサルタント資格取得(2010年)。実務経験を通して就職活動に臨む学生に対して、内定を勝ち取るまでに必要なことを指導していく。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概論と導入
2講目	充実した学生生活の送り方
3講目	卒業後の進路選択パターンと、就職活動のながれ
4講目	自分の将来を描く キャリアビジョンの作成
5講目	目標設定と計画の進め方 予想される困難の乗り越え方
6講目	目標設定と計画の進め方 計画がうまくいかなかった場合の対処方法
7講目	分かりやすく伝わりやすい話し方練習 1
8講目	分かりやすく伝わりやすい話し方練習 2
9講目	分かりやすい伝わりやすい話し方練習 3
10講目	最近の社会と仕事の情勢を知る 情報の収集と活用方法
11講目	自己分析と仕事研究1 ここまでの自分を振り返り職種と業種について学ぶ
12講目	自己分析と仕事研究2 適性診断を経験し、今後調べる仕事を決める
13講目	自己PR文作成1
14講目	自己PR文作成2
15講目	自己分析と仕事研究4 夏休みに実行する課題を決める

京都学

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2022年度	一般 一般教養科目群	薄雲 鈴代	1年生 First Year	水曜日 1時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
京都を知ること、日本を知ることにつながる。古来、日本人は季節の移りかわりに敏感な民族といわれる。日ごろの生活の中で、当たり前になっている伝統行事やしきたりに、一つずつ疑問を投げかけながら、四季を通して日本文化を学ぶ。近年、京都検定を取得していると、大学編入や就職に有利といわれる。12月に行われる検定に向けて、毎時間京都検定過去問を解いていく。また、世界が注目する日本文化である「折り紙」「結び」の技術を、実技で習得する。

その他

教科書	毎時間の授業画像、適宜プリント配布
参考文献	『京都検定公式テキスト』(淡交社刊)『歩いて検定京都学』(山と溪谷社刊)『時代別京都を歩く』(山と溪谷社刊)
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。
留意点	予習はいっさい必要ありません。毎時間のテーマに関するレポート課題あり。オンライン形態ではあるが、学外見学や体験授業ができるようであれば、計画実施する。
授業時間以外の学習	京都の祭事を実際に見聞し、その感慨をレポートするとプラス点考慮。
評価方法	出席率重視。毎時間小レポート及び京都検定式テストあり
実務経験と 科目の関連	月刊京都をはじめ朝日新聞web版など京都、日本文化に関する執筆多数。出版のみならず読売テレビ、朝日放送ラジオなど京都案内に出演。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	日本文化とは何か。京都検定とは、どのような試験内容か。
2講目	世界が注目する日本のモノづくりとはなにか。京都検定過去問
3講目	日本の節句について－鯉のぼり・粽・かしわ餅の意味 京都検定
4講目	日本の祭の意味。1450年もつづく葵祭とは? 京都検定過去問
5講目	京都を守護する怨霊たち－平安京の成立 京都検定過去問
6講目	平安神宮に祀られる桓武天皇について 京都検定過去問
7講目	「言霊」について考える－日本人の精神性 京都検定過去問
8講目	梅雨に入る前に－梅干と「難逃れ」 京都検定過去問
9講目	五節句のひとつ七夕の意味 京都検定過去問
10講目	夏越の祓いとは何か－神社で実際に禊ぎ体験 京都検定過去問
11講目	日本三大祭 祇園祭を学ぶ
12講目	日本三大祭 祇園祭を体験する
13講目	土用の丑とは何か 土用の意味を知る
14講目	大文字の送り火の意味、日本のお盆とは何か 京都検定過去問
15講目	春学期の重要事項を踏まえ京都検定確認問題